



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月14日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL <https://www.sfoods.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 鵜木 健治 (TEL) 0798(43)1065
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の連結業績 (2025年3月1日～2025年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年2月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	346,695	5.7	6,783	105.7	7,668	80.9	6,834	362.8

(注) 包括利益 2026年2月期第3四半期 6,963百万円(△491.0%) 2025年2月期第3四半期 1,178百万円(△91.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年2月期第3四半期	円 銭 215.84	円 銭 —
2025年2月期第3四半期	46.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年2月期第3四半期	百万円 255,616	百万円 133,717	% 49.0
2025年2月期	230,595	129,864	52.8

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 125,318百万円 2025年2月期 121,771百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年2月期	円 銭 —	円 銭 44.00	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 89.00
2026年2月期	—	52.00	—		
2026年2月期(予想)				52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想 (2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 468,000	% 5.3	百万円 8,800	% 71.1	百万円 10,000	% 56.5	百万円 8,000	% 199.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3Q	32,267,721株	2025年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3Q	594,325株	2025年2月期	617,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3Q	31,663,961株	2025年2月期 3Q	31,644,043株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間における日本経済は、一部に足踏みがみられたものの、企業収益の増加や良好な所得環境が支えとなつたことから、個人消費は底堅さを維持し、引き続き緩やかな回復基調を示しました。しかしながら、国際情勢の変動が継続していることより、インバウンド需要なども含め先行きの不透明な状況が続いております。当食肉業界においては、依然として消費者の節約志向が継続する中、低価格帯商品への需要シフトが顕著に表れており、さらに人件費や運送費の増加、燃料や原材料価格の高止まりの影響もあり、収益確保が困難な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、食肉の生産から小売・外食まで一貫して携わる食肉事業の垂直統合を戦略的に行っていける総合食肉企業集団として、品質の良い食肉商品をお客様に安定的にお届けできる体制の構築と維持に努めました。

食肉等の製造・卸売事業においては、海外事業への先行投資と国内事業の営業力強化、事業運営の効率化に努めました。海外では、アメリカのオーロラビーフ新工場建設を進めており、本年4月には稼働を開始する予定です。国内では、グループ企業と連携を図り、銘柄牛を中心とした国産牛の販売ルートの充実とシェア拡大に取り組むだけでなく、老朽化施設の整理や生産拠点の集約を行いました。

食肉等の小売事業においては、不採算店舗閉鎖を実施するとともに、新規デベロッパーとの取り組みを含めた出店や改装店の立ち上げを進めました。また新商品の開発も図り、魅力ある商品や売り場の構築等を実施いたしました。

食肉等の外食事業においては、インバウンドや大型のパーティー需要も寄与しているものの、原材料費やエネルギー価格の上昇を受け、メニュー改定を実施するなどの施策を行っており、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定しています。今後もお客様に安全に安心してご利用いただけるよう日々の店舗運営維持に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,466億9千5百万円（前年同四半期比5.7%増）、営業利益67億8千3百万円（前年同四半期比105.7%増）、経常利益76億6千8百万円（前年同四半期比80.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益68億3千4百万円（前年同四半期比362.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は3,205億5千6百万円（前年同四半期比5.4%増）、セグメント利益は64億7千6百万円（前年同四半期比132.4%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は181億4百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は7億2千1百万円（前年同四半期比19.8%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は74億5百万円（前年同四半期比24.4%増）、セグメント利益は3億5千2百万円（前年同四半期比5.0%減）となりました。

④その他

売上高は6億2千8百万円（前年同四半期比6.8%増）、セグメント利益は1億2千4百万円（前年同四半期比35.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて250億2千1百万円増加し、2,556億1千6百万円となりました。これは主に、売上高の増加に伴う売上債権の増加、棚卸資産の増加及び在外子会社の工場建設による建設仮勘定の増加による一方で、現金及び預金の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて211億6千7百万円増加し、1,218億9千9百万円となりました。これは主に、仕入高の増加に伴う仕入債務の増加及び短期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて38億5千3百万円増加し、1,337億1千7百万円となりました。これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2026年2月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日2026年1月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	41,606	34,082
受取手形及び売掛金	40,695	53,286
有価証券	-	2,700
商品及び製品	29,305	36,229
仕掛品	6,609	4,532
原材料及び貯蔵品	4,883	6,190
その他	5,471	10,902
貸倒引当金	△95	△114
流动資産合計	128,476	147,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,836	65,180
減価償却累計額	△33,846	△34,523
建物及び構築物（純額）	29,990	30,656
土地	17,307	17,278
建設仮勘定	28,358	31,180
その他	39,617	39,557
減価償却累計額	△32,058	△31,997
その他（純額）	7,558	7,559
減損損失累計額	△2,665	△2,771
有形固定資産合計	80,549	83,903
無形固定資産		
のれん	465	375
その他	1,010	860
無形固定資産合計	1,476	1,236
投資その他の資産		
投資有価証券	14,433	16,789
退職給付に係る資産	206	350
その他	6,340	6,339
貸倒引当金	△886	△812
投資その他の資産合計	20,093	22,667
固定資産合計	102,118	107,806
資産合計	230,595	255,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,525	34,742
短期借入金	10,515	14,503
未払法人税等	2,134	3,397
賞与引当金	1,291	1,934
その他	16,122	17,812
流動負債合計	56,589	72,390
固定負債		
社債	150	50
長期借入金	37,569	42,049
役員退職慰労引当金	108	82
退職給付に係る負債	1,728	1,812
その他	4,585	5,514
固定負債合計	44,142	49,508
負債合計	100,731	121,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,824	18,873
利益剰余金	85,940	89,703
自己株式	△390	△373
株主資本合計	108,672	112,501
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,821	6,283
繰延ヘッジ損益	△24	36
為替換算調整勘定	9,211	6,425
退職給付に係る調整累計額	90	70
その他の包括利益累計額合計	13,098	12,816
非支配株主持分	8,092	8,399
純資産合計	129,864	133,717
負債純資産合計	230,595	255,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	328,067	346,695
売上原価	294,841	307,788
売上総利益	33,225	38,907
販売費及び一般管理費	29,927	32,123
営業利益	3,298	6,783
営業外収益		
受取利息	439	307
受取配当金	381	458
受取家賃	163	174
持分法による投資利益	2	4
為替差益	–	138
その他	329	426
営業外収益合計	1,317	1,510
営業外費用		
支払利息	231	444
為替差損	8	–
賃貸原価	38	45
その他	99	134
営業外費用合計	377	624
経常利益	4,238	7,668
特別利益		
固定資産売却益	11	1,352
投資有価証券売却益	1,202	2,613
補助金収入	–	105
負ののれん発生益	–	42
特別利益合計	1,214	4,112
特別損失		
固定資産処分損	70	98
減損損失	4	169
店舗閉鎖損失	0	1
固定資産圧縮損	–	105
投資有価証券売却損	–	3
貸倒引当金繰入額	799	31
子会社譲渡関連損失	215	–
事業閉鎖損失	–	134
特別損失合計	1,090	543
税金等調整前四半期純利益	4,361	11,238
法人税等	2,520	4,036
四半期純利益	1,840	7,201
非支配株主に帰属する四半期純利益	364	367
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,476	6,834

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	1,840	7,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,062	2,509
繰延ヘッジ損益	0	61
為替換算調整勘定	413	△2,785
退職給付に係る調整額	△13	△22
その他の包括利益合計	△662	△238
四半期包括利益	1,178	6,963
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	833	6,552
非支配株主に係る四半期包括利益	344	411

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日至 2025年11月30日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号 2024年3月22日。以下「本実務対応報告」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

なお、本実務対応報告第7項を適用しているため、四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	304,090	17,435	5,951	327,478	588	328,067	—	328,067
外部顧客への売上高	304,090	17,435	5,951	327,478	588	328,067	—	328,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,596	103	512	6,211	557	6,769	△6,769	—
計	309,687	17,538	6,463	333,689	1,146	334,836	△6,769	328,067
セグメント利益 又は損失 (△)	2,786	899	371	4,057	91	4,148	△850	3,298

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△850百万円には、セグメント間取引消去239百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,090百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	320,556	18,104	7,405	346,066	628	346,695	—	346,695
外部顧客への売上高	320,556	18,104	7,405	346,066	628	346,695	—	346,695
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,064	86	467	5,618	616	6,234	△6,234	—
計	325,620	18,190	7,873	351,684	1,244	352,929	△6,234	346,695
セグメント利益 又は損失 (△)	6,476	721	352	7,550	124	7,674	△891	6,783

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、冷蔵倉庫業等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△891百万円には、セグメント間取引消去252百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,144百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額
	食肉等の 製造・卸売事業	食肉等の 小売事業	食肉等の 外食事業	計				
減損損失	138	30	—	169	—	169	—	169

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	3,516百万円	3,197百万円
のれん償却額	63百万円	111百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。